

PDCA	事務事業名	保育園管理事務	部課等名	健康子ども部 幼児保育課 保育担当	担当	杉浦	
					内線等	417	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち					
		節： 第1節 子育て・子育て支援の推進					
		基本施策： 2. 幼児教育・保育					
		単位施策： (1) 幼児教育・保育の充実					
	根拠法令等	児童福祉法第24条に規定する児童の保育を実施する保育園等の管理運営事務					
	対象・目的	市立こども園2カ所、市立保育園13カ所、民間こども園1カ所、民間保育所4カ所、小規模保育事業所4カ所を適正かつ円滑に運営し保育業務を実施することを目的とし、保育士の資質向上に努めるとともに、保育園入所等に関する事務を適切に行う。					
	目的を達成するための手段・活動内容	保育園等に通う園児の児童台帳の管理及び定員管理、園児の入退園や保育料の管理事務、研修・講習会などを行う。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①研修参加人数(保育士)	1,265	1,411	1,433	人	
		②保育所入園延べ人数	30,681	29,431	29,734	人	
		③					
		事業費	7,171	7,301	8,289	千円	
		人件費	22,785	20,987	18,591	千円	
		総事業費	29,956	28,288	26,880	千円	
	活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位		
	①保育士一人あたりの研修費	655	583	570	円/人		
	②児童一人あたりの管理事務費	976	961	904	円/人		
	③						
	成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①保育士の人事評価(執務態度・能力評価)平均点	実績値	31.63	31.04	30.85	点
			目標値	35.0	35.0	35.0	
②保育園等での教育・保育の満足度(あてはまる又はややあてはまる)の割合		実績値	90.3	92.1	94.6	%	
		目標値	90.0	90.0	90.0		
③	実績値						
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
	事業の評価・課題	<p>B</p> <p>保育が必要となる児童が入所する全保育園の運営を適正かつ円滑に実施することができた。人事評価の平均点は、目標値には達してはいないが、研修・講習会を通じ、保育士の資質向上に努めた結果、質の高い保育を提供することができ、保育園等での教育・保育の満足度は目標値を上回る結果を出すことができた。また、保育料の口座振替データ処理をFD方式からデータ伝送方式に変更し、情報セキュリティを強化するなど保育園等の管理事務を適切に行うことができた。</p>					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	<p>改善推進</p> <p>引き続き各園毎に新保育所保育指針への理解の充実を図りつつ、保育士の階層毎の職務や役割をより明確化した研修や新人保育士に対する専門員(再任用職員)の配置を実施するとともに、看護師や調理員向けの専門研修を実施し、保育の質の向上と、保護者アンケートの実績値の向上を図る。また、国の幼児教育・保育の無償化に対し、システム改修を含め適切に対応し、適正な保育料等管理事務を行う。</p>					
	令和元年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①保育士の人事評価(執務態度・能力評価)平均点	35	点			
		②保育園での教育・保育の満足度(あてはまる又はややあてはまる)の割合	90	%			